

N E W C O M E R



RB924CS

1983年、 最もヴァイタルな スキャンダル

ソリッドでタイト。エレクトリック・ベースとして必要な機能以外はなし。カタチも然り。意を決して徹底的にトレーニングをくり返したヘヴィー級コンテナーだ。RB、おことわり申し上げるが、ほどほどに、とか、適当に、とか、の概念はさらさらしない。飼いならし、寝ていただかねばならない。意気に感じ、すすんで危険に身をさらす真のダンディにこそふさわしい一本と考える。固有の方法でボディ・トーキングをひそかに愉んでいただけのはずだ。全身で立ち向かっていただきたい。ほどなく男の世界をお見せできる。

RB820

アルダー材のボディでサウンドの腰を鍛えた。1ピックアップ、直截でシンプル。サウンドヴァリエーションは、ドライサウンドスイッチがうけ負う。新しいヘッドのスタイルは、ウエイトバランスとネックの振動の相間により完成した独自のシェイプとなった。



RB820SS

RB920

トップは厳選されたバースアイメイプルを採用。より引き締まったタイトなベースサウンドは、全機種にマウントされたアキュキャストBIIブリッジがうけとめる。ベース弦のヴァイブレーションをボディにうけとめるためのシステムのポイントとなるこの部分への情報は、サドル部分を従来のイモネジ式からヒンジ機構にする、サドルの高さを一本のスクリューで行うという機能性の優秀さにつながる。アタックの強いチョッパー奏法でも重みなし。

RB924

RBシリーズ唯一の24フレット、角度つきヘッドを持つ。高フレットでも遅んだトーンをゲインするよう、テンションを強化しつつ、ローポジションでは、あくまでも弾きやすさを確保するポリシーがつかぬかれた。MCシリーズで好評のピックアップ・バランスサーを搭載した、2ピックアップシステムでバーカッティングな威力。リアピックアップは同じくTRI SOUNDをマウントした。ハムバッキングでフロントのスーパーPSSと合わせ、イバニーズ特有のディクチャブル・ベースサウンドを放出する。



RB920BS



O F T H E Y E A R